

ハッキングの仕方 (5)

ここで、ちょっと変わったところで、たとえば今回特集している内容で、自分のローカルな環境で行っている分には問題ないのですが、万が一外部へ漏れ、他のパソコンにハッキングを行った場合には次のような法律に違反する可能性がありますので、十分ご注意ください。

不正アクセス行為禁止法、電子計算機使用詐欺罪、電磁的公正文書原本不事実記載罪、電磁的記録不正証書作出罪、電磁的記録毀棄罪、不正電磁的記録供用罪、不実電磁的公正証書供用罪、業務妨害罪、詐欺罪、軽犯罪、著作権違反罪などなど。

じゃあどうして特集するのかということになるのですが、まずは、現実を知る必要があるのではないと思うわけです。いろいろな方法でハッキングされることはあります。対岸の火事のように思っている人は多いでしょうが、決してそんなわけは無いのです。今回特集したように、ウィルスも簡単に作ることができますし、作ろうと思えばいろいろなものがネットワーク上には公開されています。特に、コンピュータのプログラミング技術というものは、新しいものに対する発想は10代、20代が中心で、30代以上のプログラマは、ほとんどそれまでの蓄積に基づいた応用といってもいいほどです。そんな若い技術者、正確に言えば学生が、まだそれほど法律的な問題意識も無く、面白半分に作ってしまったらどのようなものが作られるのか怖い気がします。現実には、このごろのウィルスがアメリカの大学生が作ったものであったり、昔では、イスラエルで作られたものであったりしました。ちょっと前に日本の高校生がウィルスを作って話題になりましたが、別に驚くことではなく、当たり前のような気がします。受験勉強の合間にパソコンにのめりこんで、面白半分にいろいろなところに侵入するなど、別に驚くべきことでもないでしょう。昔なら、インターネットにそれほど長い時間接続しておくわけにもいかなかったでしょうが、今は常時接続です。友達のパソコンに侵入したりしているうちに、偶然他のパソコンに進入できればそれはそのあとどうなるものか。はじめから悪さをしようとするものではないでしょうが、知り合いのところには入れれば、次はたとえば学校のパソコン、そのあとはだんだん範囲を拡大して行ってとなってしまう。そんなセキュリティ的に弱いパソコンを探すソフトもあるのですから。自治体の住民基本台帳ネットワークに進入できたという記事がありました。実際そんなものだと思います。自治体でも会社でも個人のパソコンと同じで、ウィルスやハッキングはまったく対岸の火事のようなものです。重要書類とはんこが押してある文書であれば、注意して扱うでしょうが、パソコンに入ってしまったら簡単に持ち運んだり、自宅で自分のネットワークに接続したりしてしまっているのではないのでしょうか。まったく重要なものだという意識があるのか無いのか。もうしばらくハッキングの特集は続けますが、セキュリティについて、規則を整備したり、チェックを厳しくしてもなかなかうまくいくものではありません。対岸の火事のうちは何をどうしてもうまくいくものではないような気がします。各人がどう意識をするか、この程度はいいんじゃないかといった甘えをどうなくすかが大切です。ユビキタスという言葉が流行り、いかにも便利になっていくように感じますが、個人情報などがどう扱われているか、どう外部からの攻撃に対処できるようになっているのか、その裏側も含めて考えていく必要があります。他人の情報は面白いでしょうし、難攻不落のところに入ればそれなりの達成感はあるでしょうが・・・ (次回に続く)

(情報誌トピックス)

○日経エレクトロニクス 10月27日号

特集 電気産業に実りの秋

→デジタル家電が日本の電子産業を力強く牽引している。これまで牽引していたパソコンは不振となり、携帯電話とデジタル家電がのびているが、これまで日本で成功したのではなく、世界同時発売が次への勝負。

拾読 「マイクロプロセッサ、2010年滅亡」

→MicroprocessorForumにおいて基調講演したサンマイクロシステムのPapadopoulos氏の内容。2010年にはマイクロプロセッサの命令セットの違いは重要ではなくなり、複数のCPUコアを連携させたMicrosystemや、ネットワークで接続したシステムの性能が重要となるというもの。

○日経パソコン 10月27日号

特集 使い終わったパソコンは高く売ろう！

→新しいパソコンを買ったら古いパソコンはどうするか。10月からは捨てるにも費用がかかる。しかし、3空念前のものだったらまだまだ売れるかも知れない。そしてその場合でもデータの消去などやらなければならないことはある。捨てるほかにも寄付するという選択肢もある。

特集 Office 2003じゃなきゃ、ダメっ！

→Office 2003が発売となった。2003じゃなきゃ使えないという改良点はあるのか。企業向けとしてのXML対応や関数ウィザードなどはあるが、実際はどうかと思ったらその特徴を見て判断。

○日経バイト 11月号

特集 オープンソースの魔力

→オープンソースは誰でも自由に使うことができ、譲り渡したり、改造することができるなど魅力が多い。このオープンソースとビジネスが出合い新しい世界が生まれようとしているが、最期の関門として「特許」の問題も明らかになってきた。

○日経システム構築 11月号

特集 トラブルと戦う

→いくらテストを繰り返してもトラブルの恐怖から逃げることはできない。どうやってトラブルを少なくすることを考えるよりも、トラブルが発生した場合の対処方法をどうするか、不具合を前提とした運用が重要になってきている。

特集 電子メールシステムいま見直しのとき

→各社で電子メールの見直しが行われている。分散したサーバを統合するならメールを格納するプールサーバをどうするか、ユーザアカウントをどう管理するか検討する項目は多い。低コストで効果的な設計・運用ノウハウを探る。

○N+I NETWORK 12月号

特集 本番！BB回線導入

→トラフィック量の増大や新しいアプリケーション需要に対応するため企業ネットワークにBB回線の導入が進んでいる。しかし、BB回線は信

頼性やパフォーマンス、サービスレベルに問題がある。導入メリットと技術面、運用面での問題及びその解決法を整理する。

特集 アウトソーシング戦略的活用術

→ホスティングやIT運用管理などアウトソーシング市場が拡大している。その主な目的は「コスト削減」だが、真の活用は別にある。本当に生かすにはどうすればよいのかを整理する。

○ASCII 11月号

特集 Athlonがすべてわかる

→登場した64bitCPU Athlon64を中心にその特徴と自作講座まで。

特集 Windows II Windows XPアーキテクチャ入門

→WindowsをファイルやDirectXなどその基礎知識としてのアーキテクチャの紹介。操作をすると内部ではどうなっているかを理解することができる。

○DOS/V magazine 11月15日号

特集 PC&WinXP再強化プロジェクト

→周辺機器によるものでない、ソフトウェア面での環境最適化を考えたときどうすればよいのか。デバイスドライバの隠し設定や、オンラインソフトの導入によって発揮される機能とは。

特集 スпамメール&スパイウェア根絶の処方箋

→大量のメールを出してしまうスパムメール、知らないうちに個人情報漏れてしまうスパイウェア。考え方によってはウィルスよりも始末が悪いのにその対策がなかなかされていない。それぞれの処方箋と対策を挙げ、根絶を図る。